

第2次掛川市総合計画改定版（案）への意見反映状況について

1 総合計画審議会（12月13日）

No.	意見の概要	対応	備考
1	グローバル人材の育成だけでなく、AI等の新たなテクノロジーに関する人材育成も今後必要になってくる。時代の変化に合わせたリカレント教育が必要である。	個別施策の1-①の「持続可能な社会の担い手を育成するための教育の充実」と1-②の「生涯学習機会の充実」にAI等の新たなテクノロジーに関する人材育成やリカレント教育の記載を追加しました。	P41 P45
2	地域と学校が協働で子育てに邁進していくことがよく見えるように「地域学校協働活動」の文言を入れて欲しい。	個別施策の1-①の「学校・家庭・地域が連携した子どもを育む教育の推進」に「地域学校協働活動」を追加しました。	P41
3	生涯学習は掛川が続けてきたことであり、もっと前面に押し出した方がよい。	個別施策1-②の「市民の学びの拠点づくり」の「学び」を「生涯学習」に変更し、「市民の生涯学習の拠点づくり」としました。	P44
4	掛川として積極的に新産業の育成やプロジェクトをやっていくという前向きなことが必要ではないか。	個別施策4-④の中小企業及び新規創業者に対する支援に先導的な企業を探索し、新産業の創出をする旨を追加しました。	P91
5	将来に向けた公共交通に関する施策や主要事業をもう少し具体的に示して欲しい。	将来の移動手段について実験的な検討を進めている段階であり、個別施策5-⑦の「利用しやすい地域公共交通の構築」に「移動手段の最適化を検討する」旨を追加しました。	P113
6	個別施策6-③に市民、自治組織、市民活動団体等によるまちづくりの推進とあるが、協働で進めていくため、「協働による」を追加して欲しい。	6-③の「市民、自治組織、市民活動団体等によるまちづくりの推進」に「協働による」を追加し、「市民、自治組織、市民活動団体等の協働によるまちづくりの推進」としました。	P128

2 全員協議会（12月20日）

No.	意見の概要	対応	備考
1	3つの日本一は今後も続けていくのか。	現市政において最も大切にしている視点が3つの日本一であり、引き続き推進していきたいと考えています。	
2	スマートシティについての視点は入っているのか。	スマートシティは、様々な分野において進めていくものだと考えています。例えば、戦略の柱と方針の(1)では、「知識を活用する教	P25

		育」と記載してAIを活用した教育等を、 (2)では、「健康増進のための予防活動」として、バイタルデータの蓄積等による予防医学等を、(3)では、「地域循環共生圏の視点」で、より効率的なエネルギー循環を行うための仕組み等を、(4)では、「新たな事業を開拓……」で、スマートシティを支える新たな産業の創出等を、(5)では、「移動手段の最適化」で、自動運転等を見据えた移動手段の最適化等を、(6)では、「スマート自治体の推進」で、個人のスマートフォン等で手続きができるようなスマート自治体の推進等、これらは一部の例ですが、スマートシティの視点として入れています。	
3	安心して生活できるように障がい者の問題をしっかり支えてもらいたい。	2-⑥の障がいのある人の自立した生活の支援の充実の施策をさらに充実させていきます。	P66
4	「茶エンナーレから始まる掛川文化の創造」という記載がすごく強いインパクトがあったが今後はどうなっていくのか。	前回計画では、国の定めた戦略の柱でしたが、今回は掛川のオリジナルの戦略の柱に変更し、(1)の生涯にわたりこころざし高く学び心豊かに暮らすまちの個別施策1-③にかけがわ茶エンナーレも位置づけ、進めています。	P49
5	地域で福祉の担い手になれるように教育分野の中で福祉の教育に力を入れて欲しい。	個別施策1-①に「持続可能な社会の担い手を育成するための教育の充実」を追加し、人権教育、福祉教育、環境教育、平和教育などをさらに充実させ、持続可能な社会の担い手の育成に努めます。	P41